



6月17日(土)に「平成29年度定時総会」が群馬県社会福祉総合センター8階ホールにて開催されました。定時総会後に開催された記念講演も含めご報告をさせていただきます。

「平成29年度定時総会」開催

平成29年度一般社団法人群馬県介護支援専門員協会定時総会が、去る6月17日(土)13:30から群馬県社会福祉総合センター8階ホールにて、89名を得て開かれました。冒頭の私の会長挨拶の趣旨をご紹介参加します。

「本日、ご参加の会員の皆様、そしてご来賓の皆様、お忙しいところ誠に有難うございます。ご挨拶に代えて、昨年度の私の活動の一端をご紹介します。

現在、日本協会でも日本医師会等各職能団体と連携した研修や各団体との連携も検討されていますが、当協会では、群馬県医師会との合同理事会を11月4日(金)ホテルメトロポリタン(高崎)において開催しました。「在宅での看取りにおける医師と介護支援専門員の気持ちの違いが食い違った事例を通して」というテーマでの検討会を主にしたものでした。また、平成30年度の医療介護同時改定に向けて、医療との連携がさらに求められています。1月29日(土)、『ケアマネ必見!クイズでわかる!介護保険医療系サービスの上手な使い方』と題して、当協会菅野圭一理事(学術研修委員長)を講師に当会場で開催しました。そして、恒例のケアマネジメント群馬フォーラムも第13回目を迎え、西毛担当で7月10日(日)、ニューサンピア高崎において、『いかに生き、いかに逝くか〜“生きる”を支えるために私たちにできること〜』というテーマで開催いたしました。“利用者の伴走者として生活に根ざしたケアマネジメントを実践すること”が如何に大切かを再確認出来たと思います。それは本日の中村成信さんの記念講演会のテーマ『認知症の当事者の声に耳を傾けること』につながるものです。



ところで、昨年度は、介護支援専門員の法定研修が大きく変わったのは、皆様ご存知のことと思います。当協会の役員・会員もその講師として、群馬県社会福祉協議会主催の研修に協力させて頂いているところですが、既に、会報103号(5月1日発行)において、『“法定研修向上委員会”設立に向けての経緯(概略)』としてご報告したようにその第1回目の法定研修向上委員会が、5月30日に開催されました(当協会からは中沢理事が出席)。当委員会に関しては「現状の課題が示され、それらについて、どのような方向性で協力し研修を行えば良いかを協議する場」として大きな期待をかけていたわけですが、課題分析は行われず、専門研修I・IIに関して協会案と社協案のすり合わせは行われたものの、相変わらず“コース別”への風当たりは強く、さらにケアマネジメントより計画書1、2、3表を整える方が重要であるかのような発言すらありました。また、平成29年度介護支援専門員法定

研修に係るファシリテータースキルアップ研修の案内が事前の相談もなくなされ、開催されることとなりました。こうしたやや残念な第1回日の法定研修向上委員会ではありましたが、これからも群馬県介護支援専門員協会として介護支援専門員に係わる研修について、県内の介護支援専門員の資質向上が図れるよう、介護高齢課や社会福祉協議会を始めとした各方面と協力していく所存ですので、今後ともよろしくお願ひ致します。」

そして、県介護高齢課長の田村裕様、県社協長の片野晴明様から来賓の方々よりご挨拶をいただきました。総会では、平成28年度事業報告ならびに決算、平成29年度事業計画・予算が承認された後、役員改選が行われました。長い間、お世話になった浅沼郁子さん、高橋正彦さん、大屋千代子さんに代わって、新たに高田勢子さん、新井薫さん、坂井崇さん、中島麻衣子さん、中西有美子さん、島田光明さんが理事となりました。退任された方は本当に長い間お世話になりました。会長は大澤の続投、副会長は松澤斉(ひとし)さん再任、中沢かよ子さん新任です。あらたな体制で群馬の介護支援専門員のレベルアップと活性化を図って行きたいと思ひますのでよろしくお願ひ致します。

さらに、記念講演では認知症(前頭側頭型認知症)当事者の中村成信さんとそのお兄さんの中村彰信さんのお話を伺うことができました。その中で、介護支援専門員の役割について考えさせられることが多く出てきました。

- ・ご本人からは、若いケアマネが紹介してくれたデイサービスでは、折り紙と塗り絵で、つまらなくて次第に行かなくなってしまった。その後、ベテランに変わったが、本人の個別性をきちんととらえてくれて、運動中心の半日のデイサービスに替えてくれて、そこは今も続いている。写真が趣味で、最初は妻が同行してくれていたが、次第に飽きて、その後はボランティアのひとが同行してくれて、今では写真同好会の仲間が支えてくれている。また、昔やっていたソフトボールも復活し、仲間の支援で続いている。さらに誰かの役に立ちたい、誰かに必要とされたいという気持ちも強く、施設に有償ボランティアとして、草むしりや庭の片付け等もしている。
- ・お兄さんからは、進行に伴って妻の悩みも深まり、やり場のない気持ちを自分(兄)に向けてくる。家族の悩みを受け止めてほしいといった声がありました。

本来これらは、介護支援専門員がワン・ストップで窓口にならなければいけないことのように思ひます。本人及び家族のニーズは介護保険制度の中だけの対応では済まないことも多いのです。その人の人生や生活を支えるのはケアプラン作成で事足りるものではありません。有意義な記念講演会でした。

記念講演「僕が前を向いて歩く理由」 講演者 中村成信氏

講演者の中村成信氏は現在67歳。神奈川県に在住されています。茅ヶ崎市の職員として、1999年に茅ヶ崎海水浴場を「サザンビーチちがさき」と命名、翌2000年夏の「サザンオールスターズ茅ヶ崎ライブ」の実現に奔走された方です。

2006年、スーパーでお金を払わず、チョコレートを持ち出したとされ逮捕、自分でもなぜ逮捕されたのかわからないまま留置所へ、その事がマスコミ等で報道され、市の職員であった中村氏は仕事を失い家に閉じこもったそうです。前頭側頭葉変性症(ピック病)と診断されました。つらい時期を乗り越え、中村氏が今、力強く語られている。そこには、理由がありました。中村氏を支える多くの方々(家族、友人、支援団体の皆様、近隣住民、等)が自分のために一生懸命活動してくださり、助けて下さっている。自分もなにか出来る事をしたい。認知症になっても出来る事があるということを知ってもらいたい。中村氏の想いがたくさん詰まっていた。

中村氏は現在、①本人が行きたいと感じたりハビリ中心のデイサービスを週2回利用②施設の庭の手入れなど、軽作業を行う有償ボランティアを週2回～3回③畑での野菜や花の栽培④趣味の写真撮影⑤毎週日曜日に地元のソフトボールチームの練習や試合に参加⑥全国各地で講演会、Facebook、他、皆さんに支えられながら生活されているそうです。ご本人が望む「社会の役に立ちたい」「希望と尊厳をもって生きていきたい」が実現されています。私もこんなプランを作成したい。ご本人がなにかの役に立ちたい、希望を持ちたいという気持ちに寄り添い、実現できるプラン。実現するためには多くの支えが必要です。支えている方への支援も重要です。



記念講演に参加して、私は人として、ケアマネジャーとして考えさせられることが多くありました。ご講演いただいた中村成信氏、一緒にご登壇頂いた兄の中村彰信氏に深く感謝いたします。

居宅介護支援 温守 前田 正博

群馬県介護支援専門員協会役員改選について

5月10日に公示された一般社団法人群馬県介護支援専門員協会役員選挙は、5月24日の立候補届出締切り時点で候補者数が定員を超えておりませんでした。そのため、定款と規約により選挙を行わず、立候補者全員が当選者となりました。

新役員は下記のとおりです。

会 長	大澤 誠 (現)	伊勢崎佐波圏域支部
副会長	松澤 斉 (現)	高崎安中圏域支部
副会長(新)	中沢 かよ子 (現)	吾妻圏域支部
理 事	新井 薫 (新)	高崎安中圏域支部
	新井 健五 (現)	富岡甘楽圏域支部
	安藤 繁 (現)	高崎安中圏域支部
	岡島 真実 (現)	利根沼田圏域支部
	菅野 圭一 (現)	渋川圏域支部
	高麗 寿史 (現)	多野藤岡圏域支部
	小沼 説雄 (現)	桐生みどり圏域支部
	坂井 崇 (新)	前橋圏域支部
	島田 光明 (元)	高崎安中圏域支部
	須田 和也 (現)	高崎安中圏域支部
	関根 京子 (現)	前橋圏域支部
	高田 勢子 (新)	太田圏域支部
	中島 麻衣子 (新)	伊勢崎佐波圏域支部
	中西 有美子 (新)	高崎安中圏域支部
	松本 勝美 (現)	前橋圏域支部
監 事	三森 和也 (現)	前橋圏域支部
	山脇 万典 (現)	伊勢崎佐波圏域支部

群馬県介護支援専門員協会 選挙管理委員会
委員長 森平 賢之

日本介護支援専門員協会総会が開催されました

日本介護支援専門員協会 群馬県支部代議員 須田 和也

6月25日、東京都中央区の鉄鋼会館にて日本介護支援専門員協会第9回社員総会が開催され、群馬県支部の代議員として出席しました。

開会の挨拶で鷺見よしみ会長から、平成30年度の制度改正に関連する国の動きなどの説明と「利用者の3割負担、介護職員処遇改善など色々な不安があるが、本来のケアマネジメントを示すことが必要である。これらを注視しながら職能団体として意見を述べて行きたい」とあいさつがありました。

総会では日本介護支援専門員協会の今後の事業計画についてスーパーバイザーの人材育成、AIケアプランをどのように活用して行くのか、小規模多機能のケアマネジメントのあり方、また地域共生社会 障害福祉サービス事業者との関係性についてなど、今後に向けたさまざまな取り組みの意見がありました。

昼食休憩後は、会長候補者理事選挙、全国選出理事選挙が行われ、福岡県支部の柴口里則新会長が誕生しました。また全国選出理事選挙では、多くの理事が入れ替わる結果となり、新たな執行部が誕生しました。柴口新会長のあいさつの中で「チーム一丸となって、皆さんと一緒に歩んでいきます。」と力強い言葉がありました。

全国的な傾向として、日本介護支援専門員協会の会員数は増加傾向にあるようです。群馬県内の会員の皆様も是非、日本介護支援専門員協会に入会して頂き、全国の介護支援専門員の皆さんとケアマネジメントの今後の在り方や制度の在り方など共に考えて行きたいと思います。ケアマネジャーの全国の職能団体としてよりよい社会を作るために、是非、日本介護支援専門員協会にご入会下さい。



理事会・委員会報告

理事会

会長 大澤 誠

6月17日に開催された平成29年度総会に向けて、事業報告・事業計画の確認が行われました。今回は役員改選の年でもあり、選挙管理委員会からの報告もありました。ところで日本協会でも会長選があります。群馬からは代議員として須田和也さんを推薦することとしました。また、平成29年度受験対策講座の内容確認と周知の方法について検討が行われ、かねてからの計画通り、現任ケアマネにも受講していただくことになっています。群馬フォーラムXIVにおいては、会員以外からも事例発表をしていただき、より多くのケアマネに協会のことを知ってもらい、会員獲得にも結びつけようと思っています。平成29年度介護支援専門員専門研修実施に伴う講師等の推薦者を決定しました。

総務財政委員会

総務財政担当副会長 松沢 斉

総務・財政委員会にとっての一大イベント「総会」が近づいてまいりました。29年度の予算についてはかなりの緊縮予算とならざるを得ない見込みです。3年続いた赤い羽根のフォーラム助成は昨年度で終了、この会報の補助も打ち切り。フォーラムの補助金に当てていた日本協会の北関東ブロック研修費も今年はもらえません。

そこで、「資金繰り」に難渋する協会を代表してお願い事をさせていただきます。

正会員の皆様には、

- ①なるべく早めの会費納入をお願いします（支部交付金の支払いが遅れてしまいます）。
- ②お近くにいる未入会有資格者への入会のお誘いをぜひお願いします（1人の会員が1人に声を掛け、声をかけられた2人に1人が入るだけで500人会員が増えるんです）。
- ③お勤め先のトップの方に「賛助会員」のお願いをぜひぜひ！！

賛助会員の企業・団体の皆様には、今年度も変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

学術研修委員会

学術研修委員長 菅野 圭一

前回告知させていただいた「現役ケアマネの知識のブラッシュアップのためのケアマネ対策講座参加」企画の日程が決定しました。7月8日(土)、9日(日)、15日(土)、29日(土)、8月20日(日)、27日(日)の6日間です。現在内容に関して知恵を絞り、特に皆さんの多くが苦手としている（と思われる）安藤理事担当の制度論と地域包括ケア、そして私が担当する高齢者保健医療の基礎知識に関して充実した内容になるよう努力していますので、ぜひみなさまご参加ください。

広報情報委員会

広報情報委員長 松本 勝美

広報情報委員会では、ケアマネ群馬103号・104号を発行いたしました。昨年度はケアマネ群馬の見た目のリニューアル（カラーに変更）を行いました。今年度は内容の変更を図り協会をより理解して頂けるようにしていきます。また研修会などの報告や感想については引き続き会員の皆様の声を掲載していきますので、広報情報委員から原稿の依頼があった時には快くお引き受けくださいますようお願い致します。

支部情報

桐生・みどり支部

5月20日(土)平成29年度の総会が無事終了し、その後研修会に参加しました。研修テーマは「医療・介護連携を考える」～在宅生活を支えるために(ケアマネさんたちにお伝えしたい事)～です。講師の先生は、医療法人社団新宿医院院長で桐生市医師会副会長の菊地一真先生でした。スライドを使っの、分かりやすい説明でした。

桐生市・みどり市の30程度の医療機関が在宅医療を実施しており、その中で往診、訪問診療ともに実施している所は37%あり、更に10の機関が24時間診療体制への協力をしているとの事でした。菊地先生は、在宅医療を実施している医療機関で「主治医・副主治医を設立したいが中々難しい問題もある」とも語られていました。

ケアマネジャーにとって医師との連携は必要とわかっていても中々回りづらく敬遠しがちですが、先生によると「病名等に関しては主治医意見書を見た上で医師に再確認や面談が一番良い」と語られ、医師との相談や指示は「私は面談による口答指示が一番良く、時間帯は事前連絡の上昼休みや診療後がベストと思うが、医師によっては、電話やFAXでも良いといった先生もいるので臨機応変に対応してほしい」との事でした。

我々ケアマネジャーは、医師とのより良い関係を築くためにも出来るだけ対面での面談機会を持ち、信頼関係を構築する事が重要だと思いました。講演後のグループワークでも活発な意見交換ができ、有意義な研修となりました。
(きらぼし 平賀めぐみ)



富岡甘楽支部

6月10日(土)13時30分から支部の総会が行われ、29年度の事業計画案などが承認されました。新役員でのスタートになります。

総会終了後には「対人スキルと面接技法」について、駒沢大学の荒井浩道教授より講義・グループワークの研修をしていただき、専門職としての面接の仕方を見直す貴重な時間になりました。面接は、こちらから積極的にアドバイスをするのではなく「無知の姿勢」で話をしてもらおうと表面化していないニーズを引き出せて、本人の考えが整理できたうえでのアプローチをする事が出来る。また、その人の悪い部分(課題)ではなく、良い部分を見て関わることによって解決に導いた例を教えてくださいました。



グループワークでは、悪代官の「良いところ」探し!を発言しあって非常に盛り上がり、「視点をかえると、良い人に見えてくる」と言う言葉も出てきました。

面接をする上では、身なりや姿勢・うなずきなど意図的に行い、上から目線にならず、専門職の自己満足で終わらないようにしていく事が、ケアマネジャーにはとても必要と感じました。

(下仁田町地域包括支援センター 茂木 貴彦)



伊勢崎支部

5月18日(木)伊勢崎市社会福祉協議会にて伊勢崎佐波ケアマネジャーの会(伊勢崎支部)第17回定期総会が開催されました。今年度のテーマは「ケアマネジメントの本質を高める」。それに沿った事業計画には「在宅支援塾」(年3回開催予定)など、多くの研修や交流会が予定されていました。総会后、岡田稔会長(支部長)による「第7期高齢者保健福祉計画の動向について」と題した講演が行われ、計画の基本指針や地域包括ケアシステムの強化について学びました。興味深かったのは、地域共生社会の実現に向けた取り組みにより高齢者や障害児者が同一事業所でサービスを受けやすくなるという話でした。テーマ実現の為今後も研修への参加や自己修練に励んでいけるように頑張りたいと思います。



(ケアプランかしま 木暮 俊輔)

多野藤岡支部

5月16日(火)に「医療・介護の情報共有及び在宅医療構想について」と題して、藤岡多野医師会より杉山博之先生と相原優子先生をお招きして研修会を開催しました。以下、その報告をします。

＜包括ケアシステムの構築・医療介護連携推進の一環として＞



照会票書式の統一の提案と承認：これまで様々な書式が使用されていたのを統一化し、医療介護間で直接的な情報交換が効率的に行われることが期待されています。

24時間切れ目のない医療チーム体制の試み：主治医を中心として在宅医療にあたり、都合がつかない場合のみ当番のサポート医が看取りを担当する体制で、必要時には市内5病院のバックアップベット体制も用意されており、既存のICT(情報通信技術)で情報を共有し、来年度には実質的に稼働される方向で準備が進められています。

今年4月から退院後の生活や療養を支える目的で退院調整ルールが開始されており、この1~2年でこの地域の医療介護連携体制が益々充実してくると思われます。介護支援専門員としても制度の目的や内容を十分に理解し、制度活用から得られる様々な情報をご利用者の生活や介護、場合によっては医療へと適切に繋げていくことが求められてくると感じた研修会でした。



(医療法人育生会 居宅介護支援事業所 吉岡 直美)

ケアマネジメント群馬フォーラム XIV in 北中毛 開催のご案内

テーマ：「ケアマネジメントで切り拓く地域共生社会」

期日：平成29年11月12日 場所：群馬県社会福祉総合センター

皆様の声を是非フォーラムでお聞かせください。ご参加をお待ちしております。

コラム

しっかり噛んで健口寿命で健康寿命を目指す！

しっかり噛めて、美味しく食事ができるまでの期間を健口寿命といいます。健康寿命を延ばすためには健口寿命を延ばす事が重要な事と言えます。

大切な「歯」を失う原因の一つである歯周病は、歯垢（細菌の塊）の中の歯周病菌が出す毒素によって、歯の周りの組織が壊されたり、歯を支える骨も溶かされてしまう事で、歯を支える事ができなくなり、歯が抜けてしまうのです。それだけではなく歯周病菌が出す毒素は、出血した歯肉から血管に入り込み全身に回り、「心筋梗塞」や「脳梗塞」のリスクも高めると言われています。

歯垢は、時間が経過すると硬くなり、歯石になると歯ブラシでは取り除く事ができなくなる為、毎日の歯磨きがとても大切になるのです。それでも完全には取り切れない汚れ等は、歯科医院に行って専用の機械を用いた専門的なクリーニングを定期的に受ける事が自分の歯を守っていく事、そして健口寿命や健康寿命を延ばす事に繋がっていくのです。
(基礎資格 歯科衛生士 C I)

事務局からのお願い

会費納入について

平成29年度会費のお振込がお済みでない方は、お手数ですが下記口座にお振り込みをお願いいたします。当会は会員の皆様の会費で運営しております。

より良い会を目指して役員・支部長・委員会委員等頑張っております。是非ご協力の程をよろしくお願いいたします。

(会費振込先)

取扱銀行 ゆうちょ銀行
口座番号 00540-0-63399
口座名 一般社団法人群馬県介護支援専門員協会
*** 他金融機関からの振込用口座番号 ***
〇五九(ゼロ)キウ店(059) 当座 0063399

<会費登録に変更のある皆様へ>

住所変更・勤務先変更等のある方は変更届のご提出をお願いいたします。

提出いただけない場合には、郵便物等お届けできなくなってしまいます。

変更届・入会申込書・退会届につきましては、本会ホームページより《事務局から→変更届（こちらから）・退会届（こちらから）》からダウンロードしていただき、必要事項を記入しFAX送信していただくか、本会事務局までお問い合わせください。

一社) 群馬県介護支援専門員協会事務局(群馬県社会福祉協議会 地域福祉課内)

TEL 027-255-6226 FAX 027-255-6173

事務担当 新井



編集 後記

介護支援専門員の法定研修についての郵送による個別通知は希望者のみとなり、専門研修Ⅰは6月中、専門研修Ⅱは7月中に申込は締め切りとなっています。申込終了まで緊張をしてしまうのは私だけでしょうか…。できた事、出来なかった事の原因を把握し、業務の振り返りを行う事で次に繋げて行けるように努めていきたいと思っております。(1)